

脳科学でMITと共同シンポ

脳科学総合研究センター(BSI)は、米マサチューセッツ工科大学(MIT)等と共同で、「脳科学における挑戦」と題した国際シンポジウムを4月27、28日の両日開催しました。27日は東京、大手町の経団連会館で、伊藤正男BSI所長と利根川進MIT教授が、それぞれ日本と米国の脳科学研究の展望について基調講演を行ないました。その後、ステファン・F. ハイネマン、ソーク生物科学研究所教授をはじめ日米5人の研究者が研究成果を発表しました。28日は場所を和光本所の大河内記念ホールに移し、日米7人の研究者が研究成果を発表しました。

シンポジウムには大学、企業等の若い研究者、学生の出席が目立ち、延べ500名以上の参加者がありました。



基調講演する利根川MIT教授